



コミュニティ・スクールだより

宇部市立上宇部中学校 学校運営協議会設置推進委員会 第1号 (H. 25. 6月)

★ 平成26年度から、上宇部中学校はコミュニティ・スクールになります！ ★



本校は、平成24年度からの2年間で文部科学省から「コミュニティ・スクールの導入促進に関する調査研究」という研究指定を受けています。研究テーマを『地域・保護者と共に、活力ある学校・地域づくりをめざして』とし、1年次はコミュニティ・スクールとしてめざす地域・学校・生徒像の明確化と具現化の方策をねらいとしました。今年度は、コミュニティ・スクールの組織づくり及び学校・地域相互の支援体制づくりをねらいとして研究を推進してまいります。

コミュニティ・スクールとは、合議制機関である「学校運営協議会」を通じて、保護者や地域住民が一定の権限と責任をもって学校運営に参加する制度です。この制度の目的は以下のとおりです。

- 保護者や地域住民の学校への願いや意向等を迅速にかつ的確に学校運営に反映させる。
- 地域に開かれ、地域に支えられる学校づくりを実現する。
- 学校・家庭・地域社会が一体となってより良い教育の実現に取り組む。
- 地域の創意工夫を活かした特色ある学校づくりをすすめ、地域全体の活性化を図る。

本校では、昨年度コミュニティ・スクール設置推進委員会を立ち上げました。この委員会は7回実施され、コミュニティ・スクールの趣旨や役割・機能について理解を深め協議し、共通理解を図ってまいりました。以下が1年次に協議されてきた内容です。

(1) 求める地域像 (案)

人と人とのつながりを大切にした上宇部中校区

- ① 挨拶が飛び交う地域。
- ② 子どもたちが地域行事に積極的に参加できる地域。

(2) 育てたい生徒像 (案)

地域の人(他人)と活発にコミュニケーションがとれ、地域の一員という自覚をもち、郷土を愛する生徒

(3) 求める学校像 (案)

上宇部・琴芝とつながる学校
行かせたい中学校

(4) 学校・地域連携のあり方 (具体策として)

ア 中学生の地域行事への参加〔子どもはどこで生かされるだろうか〕

- ・〇〇小出身にとらわれない参加
- ・夏休みお楽しみクラブでの中学生の指導
- ・土曜ワクワク教室、放課後子ども教室
- ・PTA行事の活用

- ・地域防災、地域清掃活動 など
- イ 子どもと地域をつなぐ「ふるさと」意識の育成
 - ・地元のことを学ぶ
 - ・自治会花壇のお世話
 - ・所属自治会について知ること など
- ウ 学校は地域をどう連携して生徒の学びにつなげるか？

ア 図書室運営の支援 イ ボランティア体験学習 ウ 教科授業への学習支援
 ＊地域人材を活用できそうなことは他にないか。 ＊地域に貢献できることはないか。

本年度は、地域・保護者との協働の具体案を検討し、試行に踏みだしていく予定です。また、組織づくりについても先進校視察等をしてしながら、本校区の実態に即したものを検討していくこととします。



○ 平成25年度 コミュニティ・スクール設置推進委員会

1 構成

委員長： 本池 純 さん 副委員長： 蘆田 育子 さん

No.	氏 名	所属・役職名
1	安 井 滋	上宇部校区人権教育推進委員協議会 前会長
2	中 川 洋 子	法務省人権擁護委員
3	林 佳 代 子	上宇部校区母子保健推進委員会 会長
4	本 池 純	上宇部校区人権教育推進委員協議会 会長
5	松 本 久 美	上宇部中学校PTA 副会長
6	蘆 田 育 子	上宇部中学校元PTA 副会長
7	今 鶴 勇 二	上宇部小学校 校長
8	田 中 勇	琴芝小学校 校長
9	津 守 一 郎	上宇部中学校 校長
10	伊 藤 隆	上宇部中学校 教頭
11	白 川 裕 隆	上宇部中学校 教頭
12	山 田 耕 三	上宇部中学校 教務主任

2 第1回推進委員会〔5月15日（水）開催〕の内容

- (1) 推進委員会の運営方針説明
- (2) 委員長・副委員長選出
- (3) 今年度の研究計画の説明と承認
- (4) 学校経営案について説明と承認



- ・学校教育目標「学校・地域社会の一員としての自覚をもち、自他を大切にし、向上心に燃える生徒の育成」
- ・コミュニティ・スクール設置推進のキーワード：「公開・参画・貢献・協働」

